

1 学校教育目標と重点目標

NO. 1

学校教育目標
<p>教育基本法ならびに学校教育法の精神に則って、次の目標を達成することに努める。</p> <p>(1) 人格の形成をめざし社会の一員としての必要な資質・能力を養うため、教養を高める。</p> <p>(2) 日本の工業の構築発展を支える技術者として、地域に根ざした教育活動から、技能・知識・態度を修得する。</p> <p>(3) 本校の伝統の校訓「質実剛健」、「至誠一貫」、校是「技術者たる前に人間たれ。」の精神を涵養する。</p>
重点目標（中・長期的目標）
<p>地域社会から求められる生徒を育成し、より魅力有る工業高校の姿を求める。</p> <p>(1) 学力の一層の向上に努める。</p> <p>(2) クラブ活動の充実と活性化に努める。</p> <p>(3) 地域との連携により、社会に連動した魅力と活力のある学校づくりに努める。</p>
今年度の重点目標
<p>(1) 生徒の学力を伸ばし、進路実現へとつながる教育</p> <p>ア 観点別評価のフィードバックと授業改善による個に応じた指導と学力の向上、</p> <p>イ 授業公開・参観による教員の資質・能力の向上</p> <p>ウ キャリア教育の充実による、社会を担い貢献できる生徒の育成</p> <p>エ コミュニケーション能力や情報活用・発信能力に優れた人材の育成</p> <p>(2) 生徒一人ひとりが、安全で生き生きと充実した高校生活をおくる環境づくり</p> <p>ア 挨拶の励行、清掃の徹底による学習環境の整備（5Sの徹底）</p> <p>イ 各種コンテスト、資格取得や技能検定の情報提供と積極的な挑戦への支援</p> <p>ウ 生徒会活動、部活動の一層の充実・発展</p> <p>エ いじめ、体罰のない安心安全な学校</p> <p>オ 支援を必要とする生徒や悩みを抱える生徒への相談・支援体制の充実</p> <p>カ 情報モラル・IoT教育の計画的な指導（HR、学年、生徒指導、進路指導 連携）</p> <p>(3) 地域に根ざし、地域に情報を発信し、地域の期待に応える、開かれた学校づくり</p> <p>ア 学校開放・地域貢献・地域連携・地域活性化・ボランティア活動への取り組み</p> <p>イ 国・県の指定事業、各種団体の助成事業の積極的な活用</p> <p>ウ 小中学校におけるものづくり教育の連携</p> <p>エ 高大連携事業</p> <p>オ 広報活動の強化（HP等による積極的な紹介、工業高校の存在意義の再確認）</p> <p>カ 地域の子どもたちから「あこがれの岡工生」としてみられる生徒の育成</p> <p>キ 本校の将来構想について検討の推進</p> <p>ク 近隣地域の清掃活動</p>

2 評価項目と評価の観点

NO. 2

領域	対象	評価項目	評価の観点	内部評価	成果と課題	外部評価
教育活動	教育課程	教育課程の検討	新学習指導要領施行により編成された教育課程及び現行の教育課程は本校の教育目標および地域の期待に応えるものであるか。	B	ZOOMによる高等学校教育課程研究協議会（県教委：学びの改革支援課主催）に参加。（9月5日・9月6日・9月12日・9月13日のべ11名） 国語 地歴・公民 数学 理科 保健体育 音楽 外国語 家庭 情報 工業 総則・特活の各部会では、新学習指導要領の理解・授業改善・観点別学習状況評価の研究協議をそれぞれ実施。	A
		選択科目の計画	選択科目の設置は生徒の実態に即したものであるか。また次年度に向けて生徒の希望に沿った選択科目の計画が行えたか。	A	令和5年度選択科目計画書の新規見直し。（9月職員会議提案） 2学年会と連携しより良い選択科目を行うための生徒指導と家庭連絡（11月～） 選択科目説明会の実施（10月LHR時 オンラインにて）。以後継続的に2学年会を中心に審議・調整を行い、進路実現に向けた科目選択を進めた。	A
		シラバスの作成	学習内容を精査し、実用的なシラバスを作成することができたか。またシラバスに沿った授業を計画的に実施することができたか。	A	令和4年度入学生より、新学習指導要領が導入され、新しい教育課程での学習がスタートしたが、生徒の学びの現状に合わせ、シラバスに沿った授業展開をすることができた。これから年度末に向け、今年の実践を踏まえながら、来年度のシラバスの作成に向けて順次準備を進めていく。	A
	学習指導	学力の向上	学力の把握と観点別評価により、学びの課題を明確にした上で、生徒の声に耳を傾け実態に即した学習活動を展開することができたか。	B	係の活動方針と業務計画を明示し学習指導方針への共通理解を深める提案を行った。（4月職員会議） 内規に沿ったテスト監督の手引きの見直しと指導体制の確認。（5月職員会議） 進学者向け夏季講習の計画と実施。（数学・物理：大学受験対策講座6月） 生徒向け授業アンケート及び学びの指標アンケートの実施。（全生徒・全科目対象7月及び12月） 学びの改革支援課主導の教員向け「学習評価研修会」（ZOOMによる）に参加。（7月、8月）	A
		家庭との連携	適切な説明責任を果たすことで、本校の学びに対して保護者の理解を求め、家庭との円滑な連携を図ることができたか。	A	新入生の保護者を対象に、学習＋部活動・資格取得が岡工生活の両輪であることを話し、本校の学習指導方針に対する理解を求めた。（4月6日入学式保護者説明会） PTA地区懇談会において、本校の学習指導への理解と協力を深めるための資料作成と説明を実施。（6月以降12地区にて実施） 保護者懇談会に向けて、各教科から成績が心配される生徒及び保護者宛の教科連絡票を活用し、教科担当と家庭との連携を高めた。	A
		資格取得の推進	各種資格取得の管理・運営をとおして、生徒の意欲的・自主的な活動を支援することができたか。	A	資格取得一覧表（のべ60種類の資格）を作成し、年度内に予定される資格取得の詳細と計画を提示。（4月20日職員会議） 3年生を対象とした技能講習会の計画と運営。（7月～8月の休日利用174名中67名参加 4種全ての受講者もあり）	A
		開かれた学校づくり	本校の教育活動を理解してもらうために、保護者・中学生・地域等に向けて、適切な情報発信と働きかけができたか。	B	春季公開授業の立案。（4月29日に予定：コロナ禍の影響により、やむなく中止） 秋季公開授業の計画と実施。 （10月11日・12日：全196講座の公開：2日間で71名の見学者が来校） 授業アンケート結果公開（9月、1月：岡工ホームページにて公開）	A

領域	対象	評価項目	評価の観点	内部評価	成果と課題	外部評価
教育活動	生徒指導	家庭との連携	家庭や学校生活での行動の変化等の心配事や不安、事件・事故・問題行動発生時等に速やかに対応できるように家庭との連携が取れているか。	A	入学式・地区PTA懇談会・保護者懇談会を通して、本校の生徒指導の基本方針を保護者へ説明することができた。問題発生時には、関係部署（係・学年・担任・各科）と連絡を取り合い、保護者に丁寧に説明し情報共有しながら対応している。	A
		生徒への意識啓発	校内外で起こりうる事件・事故に対して正しく対処するにはどのようにしたらよいか考えさせ、また、常識ある行動を取れるように指導したか。	A	全校放送やHR連絡を通じて、機会あるごとに生徒全体に放送や紙面で注意喚起を促し、自ら問題点を明らかにし、高校生としての自覚ある行動がとれるよう指導している。自転車事故については、警察とも密接な連携をとっている。また、SNSに関する事案については、情報モラル教育の一環としてネット使用にあたっての危険性や留意点について学習を行った。	A
		相談体制の充実	生徒が相談しやすい校内体制を整備し、それが安心安全な学校生活につながったか。	B	多様化が進む生徒たちの状況把握に努めるとともに、必要に応じ担任、養護教諭、そして教育相談および特別支援の各コーディネーターが状況により相談相手となっている。特に、注意が必要な場合は生徒指導係が複数で慎重に対応している。	A
		手続きのアカウントビリティ（説明責任）	生徒指導上の「指導」において、その根拠や手続きについて生徒や保護者に十分な説明と理解がされているか。	A	様々な場面で発生する問題行動への対応は、個々の生活環境や家庭環境によって異なるため、その都度係内で検討しながら最善の策を模索している。実際の指導に当たっては保護者が納得した上で協力してもらえよう環境作りをして取り組んでいる。	A
		職員協力体制の確立	日常の生徒指導において、全職員の協力体制と情報共有ができていないか。	A	生徒指導は全職員が情報を共有し進めていかなければならない。従って、職員が同じ認識をもち、同じ指導をすることが必要である。科・係・学年など関係した部署で連携を取り、情報共有しながら取り組んでいる。問題発生時の連携は特に慎重に実施している。	A
	進路指導	進路希望に応じた進路の実現	生徒への進路情報の提供及び進路相談業務を通して、生徒の希望・能力・適性に合った進路がかなえられるよう指導援助できたか。	B	3年については、7月の保護者懇談会にて最終の進路希望を確認した。採用状況は1月末日時点で、企業への就職希望者73人中71名が内定をいただいた。公務員希望者は希望者がいませんでした。進学希望者100名については、国公立大学1名を含む97名が合格している。大学、専門学校ともに学校推薦型選抜または総合型選抜の試験形態を利用して受験する生徒が多い。今後、進路が確定していない生徒に対し、希望する進路が実現するよう担任、保護者と連携し進路指導を実施している。	A
		進路情報の収集	入試説明会や学校訪問に参加し、また、事業所訪問や求人票の受付業務等を通して、より詳細な情報提供ができたか。生徒が情報を得やすいように進路指導室および進路資料室を整備できたか。	A	今年度は、6月に2・3年生は会社学校見学を実施することができた。3年生については6月に企業研究会・進学相談会参加や本校体育館を会場に岡谷市合同企業説明会の開催など進路情報の収集に努めることができた。また、内定後も企業を訪問し他校も含めた今年度の状況や、来年度への課題等をまとめ、1、2学年担任に伝え、生徒へも情報提供を行っている。	A
		職業意識の形成	適切な進路計画の設定・実施を行ったか（インターンシップ・事業所見学・進学ガイダンス・模擬試験・進路講話など）。	B	コロナ禍の中、7月に2年生がインターンシップを3日間の予定で実施したが、感染警戒レベルの急上昇で1日のみで打ち切りとなった。また、諏訪メッセが開催され、見学の予定であったが校内の感染状況から急遽見学を中止した。10月にキャリア教育として2年生を対象に地元企業を招いての講演会を実施し職業意識を高めた。また、各学年で進路ガイダンスを実施している。これらの取り組みを進路選択や職業選択にとって重要な行事ととらえ、生徒の職業意識の形成に努めている。	A

領域	対象	評価項目	評価の観点	内部評価	成果と課題	外部評価
特別教育活動	生徒会	生徒の自主活動	自主的、主体的な生徒会活動にできるよう本部役員が企画運営を考え活動する中で、達成感や充実感を得ることができたか。また、全校生徒が生徒会活動に対して意識を向上させることができたか。	B	今年度も新型コロナウイルス感染症対策や熱中症対策をとり、生徒会行事を主体的に遂行した。昨年と同様、生徒総会など体育館に全校生徒が集まる行事については、事前撮影した映像やライブ配信によって分散実施をした。岡工祭は3年ぶりに開催することができた。コロナ対策で校内公開のみになってしまったが、全校生徒が楽しめるような企画・運営をすることができた。また外部団体との関わりでは、岡谷市町づくり会議で岡谷市の将来を高校生視点で意見交換し、実現に向けて取り組んでいる。またテイクアウト事業として地元飲食店を誘致し、弁当の販売を行った。今後の活動として、岡谷3校合同でのご当地スイーツの開発や公園のイルミネーション装飾を予定している。学校外の活動で得られた刺激を生徒会行事等に還元していきたい。	A
		部活動の充実	部活動に入っている生徒が日常のクラブ活動を充実させ、各クラブや各自が定めた目標に向けて意欲的に取り組めたか。また、各クラブの活躍を、学校内外に広く伝え、活動の励みにすることができたか。	A	ラグビー部は7人制ラグビーの県大会でV2を果たし、全国大会ではカップトーナメントでベスト8に進出した。また県総体では5年ぶりに優勝、北信越総体ではBブロック3位入賞を果たした。県総体秋季大会では優勝し、花園出場を果たした。バレー部は県総体で準優勝をし、北信越総体ではベスト8に進出した。電気部はロボコンin信州の各部門に出場して好成績を残し、マイコンカーラリーの2部門で優勝を果たした。その他多くのクラブでも成果をあげ、実績を残している。大会結果等は生徒会誌にも載せ伝え、各新聞にも取り上げられてもいる。	A
学校運営	教務	より良い学校運営	各係、委員会等との組織的な連携を図り、効率的な業務の推進に努めたか。 学校全体のバランスを見据え、諸行事の計画および実施において、より良い学校運営に努めたか。 新型コロナウイルス感染症に対して適切な学校対応をおこなうことができたか。	B	新型コロナウイルス感染症拡大による年間計画の変更やオンライン授業への急な対応に対して、教務係を中心に各係や委員会等と組織的な連携を図り、円滑な学校運営に努めた。 綿密な計画のもと、職員会議で早めの提案および質疑を行うことで、職員間の意思疎通が高まると共に、適切な支援とサポートを行うことで、大きな混乱もなく学校運営が行うことができた。	A
		地域に開かれた学校づくり	学校要覧、学校案内、学校パンフレット等を利用して、学校の魅力と特徴を発信し、地域にアピールすることができたか。体験入学、学校見学等により、地域の中学生や保護者に対して、本校の教育活動を正しく理解してもらうことができたか。	A	ホームページの管理と充実、学校パンフレット(2200部印刷)の有効利用等、随時積極的な情報発信に努めた。7月に行った体験入学(見学)では中学生と保護者で310名を超える参加を、9月に行った体験入学(体験)では中学生150名の参加をいただき、いずれもアンケート結果から好評であった。 12月の入学者選抜説明会およびクラブ見学会には、中学生と保護者で148名に参加をいただき、好評であった。	A
		入学者選抜業務	入学者選抜説明会等を利用して、本校と募集の観点に沿った適切な説明を行うことができたか。 前期選抜および後期選抜ともに、綿密な計画のもとに、的確な選抜業務を行うことができたか。	A	10月の入学者選抜説明会では、本校に入学実績のある21校の中学校の進路担当または担任の先生にご参加いただいた。質疑応答では多くの質問があり、中学校の先生方からは高評価であった。また、個別の中学校訪問を積極的に行った。 12月に実施した入学者選抜説明会およびクラブ見学会(中学生・保護者向け)では、学校のアピールや入試概要の説明、クラブ見学会を行い、アンケート結果から高評価であった。 新型コロナウイルス感染症への対応や面接試験の方法・評価について綿密な計画を立て、適正な入学者選抜に備えている。	A